



私事ですが…
私たち、結婚をいたしました。



プロフィール

(旧姓 野田)紗希

- 1980.12.11
- 射手座 O型
- 徳島市出身
- 元 四国放送リポーター
ウェザーニュース天気キャスター
- 特技 阿波踊り



お陰様で、良きご縁を頂き、かねてより
お付き合いさせて頂いておりました我々、
この度結婚をさせて頂きました。

生まれも育ちも徳島同士、日々阿波弁
で過ごす、良き理解者です。
まだまだ未熟な二人ではございますが、
公私ともに精一杯努力をして参ります。
どうか変わらぬご指導ご鞭撻のほど、引き
続き宜しくお願い致します。

中西祐介 紗希

ユースケ プロフィール



■ 略歴

1979年・阿南市見能林にて出生
1992年・徳島県阿南市立見能林小学校卒業

1995年・徳島県阿南市立阿南中学校卒業

1998年・徳島県立富岡西高等学校普通科卒業

1998年・慶應義塾大学法学部政治学科入学
体育会航空部主将を務める

2002年・慶應義塾大学法学部政治学科卒業

2003年・北米大陸横断旅行 (NY→LA) 完成

2003年・株式会社UFJ銀行
(現 三菱東京UFJ銀行) 入行

法人取引を担当

2007年・財団法人松下政経塾に入塾 (第28期生)

2010年・財団法人松下政経塾卒塾

7月11日 第22回参議院議員選挙に
当選 (徳島選挙区) 全国最年少 (31歳0ヶ月)

2012年・自民党政策審議会 副会長

・参院消費者問題特別委員会 理事

2013年・参院内閣委員会 理事

・参院自民党国会対策委員会 副委員長
2014年・参院環境委員会 筆頭理事

・参院ODA特別委員会 理事
・参院自由民主党副幹事長 (財金担当)

・自民党青年局 局長代理
・参議院自民党副幹事長 (財金担当)

・自民党環境関係団体委員長
2015年・自民党環境部会 部会長代理

・財務大臣政務官
・7月11日 第22回参議院議員選挙に
当選 (徳島選挙区) 全国最年少 (31歳0ヶ月)



最年少の会

小泉進次郎青年局長、宮川典子衆議院
議員と。



2060研究会

弁護士、会計士、経営者、グローバル企業
人事など多くの業界に在る同世代と将来
ビジョンを研究。2060年は、中西が80歳
になる歳。政治は、将来への結果責任。来
季は分科会で深掘り。



居酒屋政経塾

徳島の四大学 (徳島、四国、鳴教、文理)
の志ある学生さん達と語り合う“居酒屋
政経塾”開講。政治は生活そのもの、の視
点で我々世代の生きる時代を語る。



徳島ビジョン懇談会

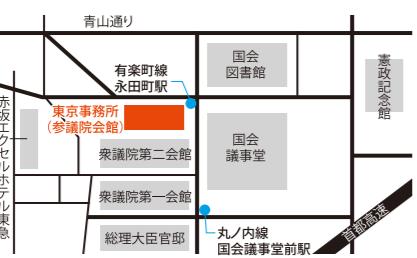
魅力ある徳島の各層活動家たちと、徳島
の将来ビジョンについて定期的に意見
交換会。前向きな発想とアクティブな行
動力は、間違いなく時代の担い手となり、
次代を創っていく。

中西祐介事務所

“読む、ユースケ。JOURNAL/Y” バックナンバーのお問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。

東京事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館622号室
Tel.03-6550-0622
Fax.03-6551-0622
✉ yusuke_nakanishi02
@sangiin.go.jp



青山通り
有楽町線
国会図書館
衆議院第二会館
衆議院第一会館
総理大臣官邸
丸ノ内線
国会議事堂前駅
赤坂エクセルホテル東急



徳島事務所
〒770-8056
徳島県徳島市問屋町31番地
Tel.088-655-8852
Fax.088-655-8853
✉ yusuke-nakanishi
@nifty.com

ユースケ本人へ ✉ info@yusuke-nakanishi.jp

自由民主党 党員募集中!! (広報資料)

詳しい情報は
ホームページへ

<http://www.yusuke-nakanishi.jp>



読む、ユースケ。JOURNAL/Y

“日に新たに”に躍動する 参議院議員 中西祐介 情報誌 / ジャーナルワイ / Create our new age and make each day a-new

特別記念号
Special Issue



永田町、総理大臣官邸にて。
2015年10月9日、大臣政務官辞令交付に
統じて、政務官全員で記念撮影。
政府の一員として、全身全霊を懸けて公務に
励みます。

第3次安倍改造内閣 財務大臣政務官
史上 最年少(36歳3ヶ月)での登用!
参議院自民党でも史上最年少での政務官抜擢。

委員会の様子はこちらでご覧頂けます ▶▶ <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

<http://www.yusuke-nakanishi.jp>

自由民主党徳島県参議院選挙区 第二支部長 中西祐介



日に新たに

情報誌

参議院議員 中西祐介

読む、ユースケ。

読む、ユースケ。

特別記念号
Special Issue

10月9日、財務大臣政務官に任命された、 中西祐介参院に聞く――



参院会館中西事務所にて(2015年10月9日)

Q.参院1期目で大役を拝命した、今のお気持ちは?

(中西)正直今回の人事、抜擢頂いたこと、非常に驚いています。財務省は全省庁の取りまとめ的存在であり、日本の舵取り、国家の中核を担う重要な役所だ。諸先輩方から様々なご配慮を頂き、また大きな期待も頂いたんだと思う。今まで以上に、とても身の引き締まる思いだ。

Q.財務大臣政務官で、歴代最年少(36歳3ヶ月)での抜擢という。

(中西)年齢にウソはない。まだまだ若輩者には変わりがないところだが、5年前、まさに野党時代だった初出馬の時、銀行員時代の経験も踏まえ「国家経営」の観点で演説をさせて頂いた。初心、原点の問題意識に対して、正面から取り組める役割だ。大変大きな職責だが、非常に光栄であるし、政府の一員という立場で政策を遂行し、また謙虚に全てを吸収するつもりで政務に励みたい。

Q.政務官として、今の問題意識は?

(中西)2012年12月に政権を頂いた。まさにアベノミクスを核として、経済成長、景気回復、そしてデフレからの脱却を何としても果たす、という内閣の強いメッセージが日本経済を回復途上に押し上げている。財政再建と両立をさせ、経済の好循環がバランスシートを改善させている今のプラスのサイクルを、より拡大させねばいけない。

直近では、軽減税率の議論や、TPP関連で国内産業へのバックアップ策も必要だと思う。当然、社会保障の充実や、地方創生に向けた地方自治体の安定財源の確保も必要だ。災害に対する備えも必要。今後の議論の中で、十分対応をしていきたい。



選挙区内で日々、お訴えする街頭演説

参院選挙制度改選、合区問題。

Q.当選して五年。いよいよ来夏参院選挙だ。

(中西)一票の格差は正によるこの度の改革で、「徳島・高知」合区選挙区となった。7月に突如浮上し、県選出衆参の先生方ははじめ対象4県の同僚と、強く反対論を展開した。当然だ。都道府県単位で明治期以来、國家の基盤がある。しかし、自民党以外は全て合区推進論。まだ参院では自民党単独で過半数121がない状況で、可決に至った。非常に悔しいが、勝って改正を期すしかない。なぜなら合区反対の主張は、我が党だけだからだ。



財務大臣政務官任命書



参院選挙制度改革議論におけるぶら下り取材を受ける

Q.合区選挙区で統一の、「自民党公認候補」になった。

(中西)高知県連さんの思いも複雑だと思う。県は違えど、私は改革議論の過程で、同じ地方の同志のような思いでいる。だからこそ、我々も全力で努力をし、また高知県でのご協力も何とか頂き、勝って改正をする他ない。田舎対都会の戦い、というと適切ではないかと思うが、地方創生の時代、地方の声を大切に出来る制度に抜本改革をしなくてはならない。来夏は、そのための戦いだと思っている。

Q.財務大臣政務官という要職に就き、またこれまで様々な党の役職も経験した。今後の抱負をお願いしたい。

(中西)野党の初当選時より、皆さまには本当に感謝が尽くせない。激励も、また厳しいお声も、全てが成長の糧であると受け止めて日々、活動させて頂いている。初出馬時“私は30歳、平均寿命の80歳まで50年。半世紀先に責任を持つ政治を行う”と訴えた。今も全く変わらない。現下の課題を解決に導き、同時に「国家百年の計」なる超長期的観点で日々前進させる必要があると思っている。まだまだ私も成長途上。日本国全体が、夢に向かって前進出来る、そんな国づくりのために今後も努力したい。



地域ごとに親しくご挨拶させて頂いています

日々精進。



麻生太郎財務大臣をしっかりとお支えして参ります